

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	EUS-FNAB 検体を用いた膵癌における BRCAness、REV7 の解析(B20-287)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部病理学 教授 村雲 芳樹
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	北里大学病院(東病院)に保存されている超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNAB)の臨床検体を用いて、BRCAness の有無や REV7 の発現強度を調査し、患者様の臨床病理的な因子及び予後などとのそれぞれの関連を解析します。 最終的に膵癌の薬物療法の有効性に BRCAness、REV7 の発現強度がどのように関与しているかを明らかにすることが本研究の目的です。
調査データ 該当期間	2010年1月1日から2020年12月31日までの11年間に、北里大学病院および北里大学東病院においてEUS-FNABを施行された症例を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間中にEUS-FNABを施行され、pancreatic adenocarcinomaと診断された患者様を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 上記期間(2010年1月1日から2020年12月31日までの11年間)において、超音波内視鏡下穿刺吸引生検によって作成された組織標本およびブロックを利用します。 また、電子カルテに記載のある診療記録、血液・画像検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報には削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 本研究の対象となる患者さんのデータ等は研究終了後5年間保存した後、適切に破棄します。ただし、5年間のデータ保管期間中に本研究のデータを使用する新たな研究をおこなう際には、保管期間を延長し、新たな研究が倫理審査委員会で承認された後に2次利用を行います。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場

	<p>合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部病理学 大学院生、大学病院 病理部 担当者：玉置 明寛(たまき あきひろ) 電話：042-778-9057(北里大学医学部病理学)</p>
備 考	拒否申し出が可能な期限：2022年8月31日までにお申し出下さい。